

序

天高く氣澄み菊花籬に香り楓林二月の花より紅ならんとするの秋 聖上陛下曠古の御大典を擧げさせ給ふ、生れてこの千載一遇の佳節に會す誰か抃舞雀躍満腔の誠を捧げて壽ほぎ奉らざるものあらんや。當校この度本村誌を編したるの所以は且つは御大典を記念し且つは故を温ね新しきを知り以て村勢の振興に資せんとするにあり、幸讀者、意義あらしめよ。

昭和三年十一月

敬格尋常高等小學校

